

全国交流集会 2012
in みやぎ

とりくみの5-10日とこれからの課題

被災者本位の 復旧・復興を めざして

2012年
10月6日(土)
～8日(月・祝)

2012年10月6日(土)～8日(月・祝)

● オプショナルツアー : 6日(土)

● 全国交流集会 : 7日(日)～8日(祝・月)

多くの皆さんの参加を呼びかけます

甚大な被害をもたらした東日本大震災・原発事故から1年7カ月が経ちます。今回の大災害は、戦後最大の災害であると同時に、福島第一原発事故に見られるように二重・三重の「災害」です。多くの被災者は、仮設住宅をはじめ県内外に避難を余儀なくされています。そして仕事も生業も人権も失われ、自殺者や仮設住宅での孤独死は増加しています。

政府は、東日本大震災の復旧・復興にあたって3次補正予算を決定しました。しかし、この予算によって被災者の生活再建や雇用、生業再開に寄与する内容は極めて少なく、使い勝手の悪いものとなっています。その一方で、復旧事業などを大手ゼネコンなどに丸投げしています。いわゆる惨事便乗型の復旧・復興特需によって、大手ゼネコンが群がっています。

これまで、東日本大震災の被災地の岩手・宮城・福島では、被災者本位の救援、復旧・復興を掲げて支援活動に取り組んできました。今年、10月に開催する全国交流集会は、昨年が続く2回目の全国交流集会です。この交流集会で、①大企業本位の復旧・復興、除染などが進められています。これとどう対峙し、被災者が主人公の復旧・復興のあり方、その実現のためにどのような運動を強めるか。②全国の災害被災地で奮闘されてきている方々の参加を呼びかけて、さらなる被災者の権利拡大をめざす。③昨年の全国交流集会以降1年間の実践経験をもとに到達点を確認しこれからの運動方向を明らかにし、交流する場として開催します。

今年、紀伊半島の豪雨災害や竜巻災害もありました。日本列島はまさしく災害列島です。全国の災害被災者の救援活動に取り組んでいる方々が一堂に会する場として、全国からの参加を心から呼びかけるものです。

会場

宮城県遠刈田温泉 全体集会 「蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)」

分科会・宿泊 「遠刈田ホテルさんさ亭」

〒989-0916 宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉東裏30 ●TEL:0224-34-2211 ●FAX:0224-34-2088

主催：全国交流集会2012inみやぎ実行委員会

〈実行委員会の構成〉

- 全国災対連(略称)
- 東日本大震災救援・復興岩手県民会議
- 東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター
- 宮城災対連(略称)
- 東日本大震災・原発事故被害の救援・復興をめざす福島県共同センター

〈連絡先〉 〒113-8462

東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4階 全労連気付
TEL:03(5842)5611 FAX:03(5842)5620
E-mail:saigai-shien-kaizen@zenkoku-saitairen.jp

